
気ままな映像感想缶詰

村瀬むか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

気ままな映像感想缶詰

【Nコード】

N6237Y

【作者名】

村瀬むか

【あらすじ】

ここでは、自分で観た映画やTVドラマ、アニメなどの簡単なあらすじや感想文を書いていく予定です。書いたからといって絶対観てね、と強制する訳ではありません。あくまでマイペースに進行したいと思います。もし観て「良かった」等思われた方、宜しければ感想を頂けたら嬉しいです。では、すっ飛ばし！！

001・ブラック・スワン

洋画

心理サスペンス

あらすじ

公演される『白鳥の湖』のプリマとして抜擢された二ナ。だが自身は清純過ぎて『白鳥』とは対照的な『黒鳥』を踊るのは難しい、と判断した監督ルロイは奔放的なリリーの存在を匂わせつつ、二ナにある『課題』を出す。それは二ナにとっては未知の領域へと踏み込ませる事だった。理想と現実。現実と奥底に眠っているもう一人の自分。二ナは一体どうなってしまうのか？そして無事『白鳥の湖』を成功させられるのか？

感想

初めは「へー、レオンのマチルダ役のナタリー・ポートマンね〜」だったのですが、レンタル直前の情報誌を見て、「何故、映画館で観なかったのか？」と後悔しました。だって大好きな俳優・ヴァンサン・カッセル（オーシャンズ12、13のナイト・フォックスやクリムゾン・リバー1のジャン・レノの相棒等）がルロイ役で結構目立つ存在だったから。

これは某ヘアサロンにて担当の男性スタッフさんと共通した意見ですが、「カップルのデートで観る作品では無い」でした。ネタバレは避けませんが、女性の生についてだとか、色々と触れてはいけない領域にまで踏み込んでいます。ナタリー体張って熱演です。

現実と　との境界線が曖昧で、深く考察すると面白いです。

またちよい役ですが、ウイノナ・ライダー（シザーハンズや17歳

のカルテ等）も元花形役で出演。

少女から女への変貌というか、二面性というか、これも受け取り方次第でどうにでも解釈出来るな、と思いました。ラスト一つにしてもその後どうなったのかだけでも考察は多種多様。女性側から観ると、「ああ、なるほどね」となりましたが男性側から観るとどういふ感想が出てくるのでしょうか？聞いてみたいです。

002・宇宙犬作戦

日本・TVドラマ

SFコメディ

あらすじ

ある日、地球から宇宙船が不時着した。その惑星の名は『プードル』。その約500年後。惑星プードルの行く末を案じて美しすぎる大統領が惑星の未来を救う為に地球へと向かう計画を立て、密かにその宇宙船を修理させていた。しかし『デンエンチヨウフ号』と名づけられたその宇宙船を起動させるには地球人の末裔である大犯罪者で元大海賊・マルコが必要である。

地球へ向かうのは大罪な為、極秘任務として作戦名『宇宙犬作戦』と名付けられ、報酬目的のマルコを筆頭に、植物系人・モジャット、女性型アンドロイド・オハナ(087)、万能翻訳犬・スプート29のメンバーを乗せた『デンエンチヨウフ号』は無事に地球へと辿り着けるのか？行け！宇宙の中をすっ飛ばせ！！

感想

こういうコメディ作品は大好きです(笑)基本ストーリーは船内で進み、地球への航路が判らない為、船に残されていた航海日誌を頼りに移動なのですが、ロククされていてそのパスワードを解くのに必要な「オーブ」と呼ばれるゴルフボール位の大きさのガラス玉(?)を入手する為に色々な惑星に行きます。

笑いあり、時にはホロリとさせられます。あ、泣きました(笑)毎回個性的なゲストが登場し、そのやり取りが面白いんですね！。

一応全24回完結。DVDレンタル版全12巻。海外のSFパロディが散りばめられています。さり気なく現代の皮肉も込められ、考えさせられる部分もあります。まあそれを抜きにしても、面白かったです。たまにはこういう作品で息抜きもいいですね。

003・チャイルド・マスター

洋画

ホラー

あらすじ

ある所に腹話術師がいました。しかしまだ幼い兄ノルベルト、妹アンジェリーナ、そして腹話術人形ダミーが残され…。大人になった兄妹はダミーと共にハリウッドでスター腹話術師になるのが夢。しかしある日惨劇が起こる。犯人はノルベルト？それともダミー？ダミーには魂が宿っているのか？一度は離れ離れになった兄妹だが再会し、ハリウッドへと目指すが、その行く先々には惨劇が繰り返されるだけだった。

感想

まあ人形系ホラーは好きですので（某作品は観ていませんが…）レンタル屋にてどうしようかな？と躊躇いつつ借り、視聴。想像していたよりは楽しめました。とにかく妹のアンジェリーナの精神がぶっ飛んでいる。まるでマードー・ライド・ショーの一家みたい。つまりイカているんですね。ダミーについては作中に触れられているのですが、どうもそれだけではない何かがあります。その謎解きが無かったのは少し残念。脳内補完するしかありませんな、こりゃ。でも妹役の俳優さん、綺麗でスタイルも良かった。羨ましい。兄役の俳優さんもコミカルな演技で、この作品はホラーの中でも笑わそうとしているのか？と思いました。BGMもその効果を加えていて。

女性の上半身裸が出てきます。その手が苦手な方はお気をつけて。

004・DEATHDOLL

洋画

ホラー・ちょいグロ有り

あらすじ

二年前に亡くなった父の遺産の一つが見つかり、息子のベンがそれを形見として受け取った。それは機械仕掛けであろう謎の箱。パーティーの夜に友人らに見せ、記念撮影をしたものの、翌日には消えていた。誰かが盗んだのだろうか？

そして、それから続く謎の友人らの死。父の死がきっかけで仲違いしていた兄が戻ってきた事も加え、憔悴するベンと友人達。その箱はどうやら19世紀に創られた呪いの箱だというのが判り、次々と迎える友人の死を乗り越え、謎に迫る。

一体誰が、何の目的で箱を盗んだのか？そしてどうやって使用するのか？

感想

タイトルに「DOLL」が付くという事もあり、もっと人形系が全面に出てくるのか？と思っただけ違いました…。どちらかと言うと、スプラッタと犯人は誰か？というのが目的のような気がします。ストーリーが進むにつれてだんだん犯人が絞られてはくるんですけどね、こういう作品って大概犯人と動機の共通点というか、ネタバレが唐突なのですね。ミステリのように伏線が無い。仕方が無いのですが。

あとツッコミ。犯人はどのような方法で使用方法が判ったのか？そもそも元の持ち主はベンの父親だった訳で…？

取説でも残っていたのかしら？不思議。しかし何故タイトルを変えたのだろうか？と原題の意味を調べたら理解しました。なるほどね、しかも同じタイトルの別作品もある、と。

この作品に限りませんが、日本リリースする時、改題は仕方が無いとしても、人気シリーズの類似品は勘弁して貰いたいです。ジャケッ
ット詐欺も多いしね。

本当に何とかして下さい。

005・メサイア

邦画

ドラマ・学園物・極秘任務

あらすじ

ある日、全寮制高校「聖永学園」に転入してきた鋭利。生徒の一人である文和と親しくなり友情を築きあげるが、実は鋭利には秘密があった。文和の兄・朝和はテロリストで失踪中であり、弟である文和を監視する為に潜入捜査をしている警察省警備庁・特別公安局外事五係。通称『サクラ』の一員だったのだ。任務と友情との感情に揺れる鋭利。だがサクラには失敗は許されない。誰も救う事は出来ない。“メサイア”以外は。

感想

トレーラーを観て、テーマソングが志方あきこさんだったので（ちなみにこのCD購入しました）、劇場で観る事を決意。出演者には特撮出演者が多い事にびっくりしました。だがしかーし！あらすじだけ見たら、なんとなく内容が判るのだが、ごく普通の学園物で始まり、途中から唐突に設定やら何やらこの世界はどういう物であるとか…。

予備知識が無ければ「???」の一言でした。

わざと狙ったのかBしっぱい演出もあり、誰向けなのだろう？と調べたら原作があったのね。そりゃ読んでないから世界についていけないわ…。

“メサイア”も、元々は救世主^{メシア}からきたものらしいし、そういう意味なのだとしたら納得です。レディースデーに行きましたが、客

は十人位？たまたまでしょうが。

原作未読なもので全てを理解する事は出来ませんでした。読んだ上で観られた方の評価はどんなものだったのでしょうか？

…テーマソング、CDとは別アレンジだったよ…。なんか悔しい…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6237y/>

気ままな映像感想缶詰

2011年12月3日17時47分発行